

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 19 日 作成

事務事業名		合併浄化槽設置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連						
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部 水道局 所属課 上下水道課 所属班 管理工務班 法令根拠 下水道法					
	施策	10	水環境の保全			課長名 久留 伸二 担当者名 西本 尚弘 (内線) 1197					
	基本事業	28	水質の浄化								
予算科目	会計	50	款	2	項	1	目	1	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 1 コスト削減優先度評価結果
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)										

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
 ・公共下水道事業及び農業集落排水事業区域外の区域の世帯に合併浄化槽(家庭用下水処理施設)を設置する事業である。  
**【業務の流れ】**  
 ①対象者設置希望調査②工事が施工可能かどうかの現地調査③設置申請④委託契約事務⑤合併処理浄化槽設置実施設計書の作成⑥工事請負契約締結⑦合併処理浄化槽設置工事⑧宅内排水設備工事(受益者実費負担)⑨竣工検査⑩支払い事務⑪維持管理業務契約  
**【主な予算費目】**・工事請負費、委託料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
・合併処理浄化槽の設置1箇所 ・活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)件 → ア 設置希望調査件数 件 イ 申請件数 件		対象者設置希望調査、現地調査 ・対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)戸 → ア 対象世帯数 戸 → イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	・公共下水道事業及び農業集落排水事業区域外の区域の世帯 ・公共下水道事業及び農業集落排水事業区域外の区域から排出される水質	・成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)% → ア 整備率 % → イ 対象区域の排水水質20以下(BOD) mg/l
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・水洗化が可能となる ・生活環境の改善	・上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)% → ア 市内河川のBOD(測定地点)基準達成率 % → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	・水質が向上する	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	10,386	2,385	7,011	2,158	1,494	1,500		1,500
		繰入金	千円								
		一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	10,386	2,385	7,011	2,158	1,494	1,500	1,500		0
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	4	5	4	4	2	2		2
	延べ業務時間	時間	750	481	550	149	200	200	200		
	(B)人件費計	千円	2,978	1,914	2,189	593	796	796	796	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,364	4,299	9,200	2,751	2,290	2,296	2,296	0	

指標	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22年度
活動指標	件	7	2	7	1	2	3	3	3
	件	7	2	7	1	0	3	3	3
対象指標	戸	75	73	66	72	65	62	3	3
成果指標	%	9.3	12	21.3	13.3	13.3	17.3	21.3	
	mg/l	15	15	15	15	15	15	15	
上位成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 ・公共下水道事業及び農業集落排水事業区域外の住民からの要望が、平成16~17年度に議会にて質問されたことと、下水道計画区域の整備率向上に伴い着手した。  
 ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 ・特になし。  
 ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 ・議員や事業対象者からは、合併浄化槽処理水の放流先を確保してほしいとの意見や要望がある。  
 ・事業対象者からは、市下水道計画より漏れた区域で長年汚水処理の整備が遅れているので早期の整備をしてほしいとの要望がある。

事務事業名	合併浄化槽設置事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・合併浄化槽の設置により雑排水が浄化され市域水質の向上につながり、水環境保全に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・合併浄化槽の設置は、公共水域の水質保全につながり、また、合併浄化槽設置事業には応分の受益者負担金も賦課されるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・合併浄化槽の設置対象は、下水道計画のない区域であり計画区域外の水質向上を図る為意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・整備率は13%なので成果の向上余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ・本事業を廃止・休止すれば公共水域の水質汚濁につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・下水道計画区域外であり、費用対効果を検討した結果、整備区域として計画されなかった箇所であり、公共下水道事業、農業集落排水事業があるが、統廃合・連携はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効 率 性 評 価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・設置工事については、工事請負費、委託料(実施設計)であり、可能な限り集約して競争入札により発注を行いコスト削減を図っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ①対象者設置希望調査②工事が施工可能かどうかの現地調査③設置申請④委託契約事務⑤合併浄化槽設置実施設計書の作成⑥工事請負契約締結⑦合併浄化槽設置工事⑧宅内排水設備工事⑨竣工検査⑩支払い事務⑪維持管理業務委託契約、以上の業務でありこれ以上の短縮の余地はない。
公 平 性 評 価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・他の下水道事業同様の応分の受益者負担(㎡当り330円)があり公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、整備率は13%なので成果の向上余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 ・合併浄化槽から発生する処理水の放流先の確保が困難な箇所の取扱い。  
 ・道路側溝等の整備。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	2	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )